

第3回定例会では、待機児童対策のための補正予算案、小池知事の給与を半減する条例案などを可決しました。

代表質問、一般質問では、豊洲市場問題以外でも都政の重要課題をめぐって、質疑が行われました。都議会公明党の質問と小池知事の答弁(いずれも要旨)を紹介します。

なお、会期中の12日に行われた議会運営委員会で、「都議会のあり方検討会」の設置期間を、来年7月の任期満了までとすることが合意されました。今後、議員報酬、費用弁償等のあり方について議論が行われます。



代表質問

待機児童対策

質問

今回の緊急対策では、特に保育士給与の増額という重要な取り組みが盛り込まれていない。保育補助者を含め、保育士等の賃金アップを支援すべき。

答弁

保育士の確保・定着には、処遇の改善は重要だという認識を共有。来年度予算案には、都としての新たな待機児童対策を盛り込んでいく考えであり、国の新たな処遇改善策を踏まえ、さらなる充実を検討していく。



高校授業料の公私間格差

質問

教育の自由と私学の独立性を守るため、私立高校への経常費補助は一層の充実が必要。中低所得者世帯の授業料等の負担の公私間格差の解消に取り組むべき。

答弁

都独自の給付型奨学金を含め、公私間格差の是正の観点から、保護者の教育費負担の軽減にしっかりと取り組んでいく。



東京五輪・パラリンピック

質問

①組織委員会の監理団体化への検討も含め、都と議会が財務内容をチェックできる仕組みを確保すべき。組織委員会の既存の評議員会には、都議会の代表を送り込み、都と都議会が組織委員会の予算執行等をチェックする仕組みを構築すべき。

②調査チームの報告書では、都の恒久施設の見直しを挙げている。タイムリミットをいつに設定するのか。

答弁

①財務状況等をチェックする仕組みや監理団体化の検討なども含め、組織委員会に対する都の関与のあり方についても整理をしていく。

②既にオリンピック・パラリンピック準備局を中心とした関係局では検討に着手しており、1カ月を目途に、都として一定の結論を得るように努力する。



受動喫煙防止対策

質問

アテネ大会以降のオリンピック・パラリンピック大会において、開催都市では、受動喫煙について罰則付きの法律や条例が施行されている。東京は開催都市として、受動喫煙防止条例を制定していくべき。

答弁

大会のホストシティとしての責任や都民の健康増進の観点から、受動喫煙防止対策を一層進めていく点は所信表明でも述べた。条例化についても、国の動きを踏まえながら総合的に判断していく。



被災地支援

質問

都議会公明党は、被災地の復興なくして東京オリンピック・パラリンピックの成功はないと一貫して訴えてきた。

開催都市の知事として、岩手、宮城、福島の新潟の被災三県を訪問、各県の知事と懇談し、被災地に対して何ができるのか把握すべき。

答弁

今後、機会を捉えて被災地に足を運んで、各県の知事とも意見交換を行い、復興に向けた取り組みをより効果的に後押ししていく。(都議会公明党が提案する)福島県での野球・ソフトボールの開催は、復興オリンピック・パラリンピックとして意義のあるものであり、その実現に向けて後押しをしていく。



一般質問

道路の無電柱化

都議会公明党は、阪神・淡路大震災で倒壊した電柱が道路をふさぎ、救命活動にも重大な支障が出たことを踏まえ、「都道はもとより、区市町村道の無電柱化を強力に進めるべきだ」と主張。小池知事は「区市町村に対する技術的、財政的支援を行う。東京の無電柱化を強力に推進していく」との強い決意を述べました。



水素エネルギー利用

都議会公明党は今年7月に開設した都の水素情報館「東京スイソミル」について、学習施設の機能に加え、日本の優れた技術を広く発信することが必要と訴えました。小池知事は「東京スイソミル」を幅広く活用し、水素の持つ大きな可能性を発信していく考えを示しました。

